# 令和４年３月改正の手引きの主な改正箇所について（第３章）

追記部分：赤字、削除部分：黄色い強調線

## 【成分名が変更になった成分】

**ポイント☞**　語尾に「水和物」が付くなど、成分名が正しい表記になりました。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| コデインリン酸塩 | コデインリン酸塩水和物 |
| プロメタジン~~テオクル~~酸塩 | プロメタジン塩酸塩 |
| ノスカピン塩酸塩 | ノスカピン塩酸塩水和物 |
| トリメトキノール塩酸塩 | トリメトキノール塩酸塩水和物 |
| ケトチフェン | ケトチフェンフマル酸塩 |
| ~~硫酸~~フラジオマイシン | フラジオマイシン硫酸塩 |
| ヒアルロン酸ナトリウム | 精製ヒアルロン酸ナトリウム |
| ジクロ~~ル~~イソシアヌル酸ナトリウム | ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム |
| トリクロ~~ル~~イソシアヌル酸 | トリクロロイソシアヌル酸 |

## 【手引きから削除された成分】

**ポイント☞**　すでに製造中止になっている成分を中心に、削除されました。

セミアルカリプロティナーゼ、ブロメライン、リゾチーム塩酸塩、カサントラノール、マーキュロクロム、ブフェキサマク

## 【手引きに新規で追加された成分】

**ポイント☞**　サリチル酸ナトリウムは第５章ですでに出題範囲となっていますが、第３章にも追加されました。サリチル酸ナトリウムが配合された商品を検索したところヒットしませんでしたが、その他の成分は現場で活躍している非常に重要な成分です。

| 成分名 | 成分グループ名 | 出題範囲 |
|---|---|---|
| サリチル酸ナトリウム | サリチル酸系解熱鎮痛成分 | 解熱鎮痛薬 |
| エピナスチン塩酸塩、フェキソフェナジン塩酸塩、ロラタジン | 抗ヒスタミン成分（第２世代） | 内服アレルギー用薬 |
| イカリジン | 忌避成分 | 殺虫剤・忌避剤 |

【成分のグループが変更された成分】

**ポイント☞**　木クレオソートは「正露丸」の成分です。手引き改正前は「腸内殺菌成分」として記載がありましたが、改正後は「生薬成分」となり、成分の説明から「腸内殺菌作用」も削除されました。

| 成分名 | グループ | 改正後の成分の説明 |
|---|---|---|
| 木クレオソート | 生薬成分<br>~~腸内殺菌成分~~ | 木クレオソートは、過剰な腸管の（蠕動）運動を正常化し、あわせて水分や電解質の分泌も抑える止瀉作用がある。また、歯に使用の場合、局所麻酔作用もあるとされる。 |

【薬の使用に関して追記されたもの】

**ポイント☞**　薬の服用方法や注意点について、いくつか追記がありました。

①胃の薬の服用方法

胃の薬は、健胃成分、消化成分、制酸成分などが、その治療目的に合わせて組み合わされるが、消化を助け、胃もたれを改善し、胃をすっきりさせる効果を主とする製剤は、食後服用のものが多い。空腹時や就寝時の胸やけ、ストレスによる胃酸の出すぎなどを抑える効果を主とする製剤は、食間や就寝前の服用のものが多い。どちらの効果も有する製剤では、食後又は食間の服用指示のものが多い。症状により製剤を選択する場合は、その症状のひどい時間を確認し、製剤の服用方法も参考にして選択すると良い。医療機関で処方された医療用医薬品を服用している場合は、副作用による胃の不快感を防止するために胃の薬も処方されている場合もあるので、販売時には胃の薬が処方されていないか必ず確認する必要がある。

②腸内殺菌成分の入った止瀉薬の注意点

腸内殺菌成分の入った止瀉薬を、下痢の予防で服用したり、症状が治まったのに漫然と服用したりすると、腸内細菌のバランスを崩し、腸内環境を悪化させることもあるので、あくまで下痢の症状がある時、その症状を改善する必要のある間のみの服用にとどめるべきである。

③大腸刺激性瀉下成分配合の瀉下薬の注意点

大腸刺激性瀉下成分配合の瀉下薬は、服用してから数時間後に効果のあるものが多いので、就寝前に服用して起床時に効果を求めると、排便のリズムも付きやすい。 ただ、毎日漫然と同じ瀉下薬を連続して服用していると、腸の運動が緩慢になり、 服用する薬の量を増やさないと効果が出なくなることが多い。大腸刺激性瀉下成分配合の瀉下薬は、便秘時の頓服として使用すべきで、毎日の排便が滞るような時は、 無機塩類や膨潤性瀉下成分の製剤を使用する、ビフィズスズ菌や乳酸菌などの整腸成分の製剤を並行して使用する、食物繊維を積極的に摂るなど、大腸刺激性瀉下成分のみに依存しない方法を指導することが必要である。

【漢方薬の変更箇所】

**ポイント☞**　大きく変わったものは、桂枝加芩朮附湯の効能効果が追記されたことと、麻杏甘石湯、神秘湯、当帰飲子の体力が変更になったところです（以上の漢方薬は太字にしています）。

| 漢方名 | 改定箇所 |
|---|---|
| 芍薬甘草湯 | 体力に関わらず使用でき、筋肉の急激な痙攣を伴う痛みのあるもののこむらがえり、筋肉 の痙攣、腹痛、腰痛に適すとされる。 |
| **桂枝加芩朮附湯** | 体力虚弱で、手足が冷えてこわばり、尿量が少なく、ときに動悸、めまい、筋肉のぴくつきがあるものの関節痛、神経痛に適すとされる。 |
| 薏苡仁湯 | 体力中等度で、~~なものの~~関節や筋肉のはれや痛みがあるものの関節痛、筋肉痛、 神経痛に適すとされる。 |
| 麻杏薏甘湯 | 体力中等度なものの~~で~~、関節痛、神経痛、筋肉痛、いぼ、 手足のあれ（手足の湿疹・皮膚炎）に適すとされる |
| 疎経活血湯 | 体力中等度で、（読点の追加）痛みがあり、ときにしびれがあるものの関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛に適すとされる |
| 当帰四逆加呉茱萸生姜湯 | 体力中等度以下で、手足の冷えを感じ、下肢の冷えが強く、下肢又は下腹部が痛くなりやすいものの冷え症、しもやけ、頭痛、下腹部痛、腰痛~~腰痛、下腹部痛、頭痛、しもやけ~~、下痢、月経痛に適すとされる。 |
| 抑肝散 | 体力中等度をめやすとして、~~幅広く用いることができる。~~神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの神経症、不眠症、小児夜なき、小児疳症（神経過敏）、歯ぎしり、更年期障害、血の道症に適すとされる。 |
| 抑肝散加陳皮半夏 | 体力中等度をめやすとして、やや消化器が弱く、~~いものに幅広く用いることができる。~~神経がたかぶり、怒りやすい、イライラなどがあるものの神経症、不眠症、 小児夜なき、小児疳症（神経過敏）、更年期障害、血の道症、歯ぎしりに適すとされる。 |
| 桂枝加竜骨牡蛎湯 | 体力中等度以下で疲れやすく、神経過敏で、興奮しやすいものの神経質、不眠症、小児夜なき、夜尿症、眼精疲労、神経症に適すとされる。 |
| 甘草湯 | 構成生薬がカンゾウのみからなる漢方処方製剤で、体力に関わらず使用~~広く応用~~でき、激しい咳、咽喉痛、口内炎、しわがれ声に、外用では痔・脱肛の痛みに用いられる。 |
| 半夏厚朴湯 | 体力中等度をめやすとして、~~幅広く応用できる。~~気分がふさいで、咽喉・食道部に異物感があり、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴う不安神経症、神経性胃炎、つわり、咳、しわがれ声、のどのつかえ感に適すとされる。 |
| 柴朴湯 | 体力中等度で、気分がふさいで、咽喉、食道部に異物感があり、かぜをひきやすく、ときに動悸、めまい、嘔気などを伴うものの小児喘息、気管支喘息、気管支炎、咳、不安神経症、虚弱体質に適すとされるが、むくみの症状のある人等には不向きとされる。<br>~~また、上記症状における虚弱体質改善にも用いられる。~~ |
| **麻杏甘石湯** | 体力中等度~~あるいはそれ~~以上で、咳が出て、ときにのどが渇くものの咳、小児喘息、気管支喘息、気管支炎、感冒、痔の痛みに用いられる。 |
| **神秘湯** | 体力中等度~~あるいはそれ以上~~で、咳、喘鳴、息苦しさがあり、痰が少ないものの小児喘息、気管支喘息、気管支炎に用いられるが、いずれも胃腸の弱い人、発汗傾向の著しい人等には不向きとされる。 |
| 桔梗湯 | 体力に関わらず使用~~広く応用~~でき、~~る。~~喉が腫れて痛み、ときに咳がでるものの扁桃炎、扁 桃周囲炎に適すとされる。 |
| 駆風解毒散（湯） | 体力に関わらず使用でき、喉が腫れて痛む扁桃炎、扁桃周囲炎に適すとされる。 |
| 響声破笛丸 | 体力に関わらず使用~~広く応用~~でき、しわがれ声、咽喉不快に適すとされる。 |
| 安中散 | 体力中等度以下で、腹部は力がなくて~~筋肉が弛緩する傾向にあり~~、胃痛又は腹痛があって、ときに胸やけや、げっぷ、胃もたれ、食欲不振、吐きけ、嘔吐などを伴うものの神経性胃炎、慢性胃炎、胃腸虚弱に適するとされる。 |
| 平胃散 | 体力中等度以上で、胃がもたれて消化が悪く、ときに吐きけ、食後に腹が鳴って下痢の傾向のあるものの~~人における~~食べすぎによる胃のもたれ、急・慢性胃炎、消化不良、食欲不振に適すとされる。 |

| | |
|---|---|
| 桂枝加芍薬湯 | 体力中等度以下で、腹部膨満感のあるもの~~大~~のしぶり腹、腹痛、下痢、便秘に適すとされる。 |
| 大黄甘草湯 | 体力に関わらず使用できる。~~広く応用され、~~便秘、便秘に伴う頭重、のぼせ、湿疹・皮膚炎、ふきでもの（にきび）、食欲不振（食欲減退）、腹部膨満、腸内異常発酵、痔などの症状の緩和に適すとされる。 |
| 麻子仁丸 | 体力中等度以下で、ときに便が硬く塊状なものの便秘、便秘に伴う頭重、のぼせ、湿疹・皮膚炎、ふきでもの（にきび）、食欲不振（食欲減退）、腹部膨満、腸内異常醗酵、痔などの症状の緩和に適すとされる。 |
| 苓桂朮甘湯 | 強心作用が期待される生薬は含まれず、主に~~尿量増加（利尿）~~作用により、水毒（漢方の考え方で、体の水分が停滞したり偏在して、その循環が悪いことを意味する。）の排出を促すことを主眼とする。 |
| 乙字湯 | 体力中等度以上で、大便がかた~~硬~~く、便秘傾向のあるものの痔核（いぼ痔）、切れ痔、便秘、 軽度の脱肛に適すとされる。 |
| 芎帰膠艾湯 | 体力中等度以下で冷え症で、出血傾向があり胃腸障害のないものの痔出血、貧血、月経異常・月経過多・不正出血、皮下出血に適すとされる。 |
| 八味地黄丸 | 体力中等度以下で、疲れやすくて、四肢が冷えやすく、尿量減少又は多尿でときに口渇があるものの下肢痛、腰痛、しびれ、高齢者のかすみ目、痒み、排尿困難、残尿感、夜間尿、頻尿、むくみ、高血圧に伴う随伴症状の改善（肩こり、頭重、耳鳴り）、軽い尿漏れに適すとされる。 |
| 猪苓湯 | 体力に関わらず使用でき、排尿異常があり、ときに口が渇くものの排尿困難、排尿痛、残尿感、頻尿、むくみに適すとされる。 |
| 温経湯 | 体力中等度以下で、手足がほてり、唇が乾くものの月経不順、月経困難、こしけ（おりもの）、更年期障害、不眠、神経症、湿疹・皮膚炎、足腰の冷え、しもやけ、手あれ（手の湿疹・皮膚炎）に適すとされる。 |
| 当帰芍薬散 | 体力虚弱で、冷え症で貧血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭重、めまい、 肩こり、耳鳴り、動悸などを訴えるものの月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産 後あるいは流産による障害（貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ）、めまい・立ちくらみ、頭重、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り~~、低血圧~~に適すとされる。 |
| 茵蔯蒿湯 | 体力中等度以上で、口渇があり、尿量少なく、便秘するものの蕁麻疹、口内炎、湿疹・皮膚炎、皮膚の痒みに適すとされる |
| **当帰飲子** | 体力中等度以下で、冷え症で、皮膚が乾燥するものの湿疹・皮膚炎（分泌物の少ないもの）、 痒みに適すとされるが、胃腸が弱く下痢をしやすい人では、胃部不快感、腹痛等の副作用が現れやすい等、不向きとされる。 |
| 葛根湯加川芎辛夷 | 比較的体力が~~の~~あるものの鼻づまり、蓄膿症（副鼻腔炎）、慢性鼻炎に適すとされる。 |
| 荊芥連翹湯 | 体力中等度以上で、皮膚の色が浅黒く、ときに手足の裏に脂汗をかきやすく腹壁が緊張しているものの蓄膿症（副鼻腔炎）、慢性鼻炎、慢性扁桃炎、にきびに適すとされる。 |
| 辛夷清肺湯 | 体力中等度以上で、濃い鼻汁が出て、ときに熱感を伴うものの鼻づまり、慢性鼻炎、蓄膿症（副鼻腔炎）に適すとされる。 |
| 十全大補湯 | 体力虚弱なものの病後･術後の体力低下、疲労倦怠、食欲不振、ねあせ~~寝汗~~、手足の冷え、貧血に適すとされるが、胃腸の弱い人では、胃部不快感の副作用が現れやすい等、不向きとされる。 |
| 補中益気湯 | 体力虚弱で、元気がなく、胃腸の働きが衰えて、疲れやすいものの虚弱体質、疲労倦怠、病後・術後の衰弱、食欲不振、ねあせ~~寝汗~~、感冒に適すとされる。 |
| 防己黄耆湯 | 体力中等度以下で、疲れやすく、汗のかきやすい傾向があるものの肥満に伴う関節の腫れや痛み~~痛~~、むくみ、多汗症、肥満症（筋肉にしまりのない、いわゆる水ぶとり）に適すとされる。 |
| 防風通聖散 | 体力充実して、腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの高血圧や肥満に伴う動悸・肩こり・の ぼせ・むくみ・便秘、蓄膿症（副鼻腔炎）、湿疹・皮膚炎、ふきでもの（にきび）、肥満症に適すとされる。まれに重篤な副作用として肝機能障害、間質性肺炎、偽アルドステロン症、腸間膜静脈硬化症が起こることが知られている。 |
| 清上防風湯 | まれに重篤な副作用として肝機能障害、偽アルドステロン症、腸間膜静脈硬化症が起こることが知られている。 |

【生薬の変更箇所】

**ポイント☞** 基原の表記がラテン名表記に変わったものが多数です。また、センソは頻出の生薬ですが、基原が「シナヒキガエル等の毒腺の分泌物」から「アジアヒキガエル等の耳腺の分泌物」になりました。

| 生薬名 | 基原 |
|---|---|
| チョウトウコウ | アカネ科のカギカズラ、Uncaria sinensis Haviland 又は Uncaria macrophylla Wallich ~~ウンカリア・シネンシス又はウンカリア・マクロフィラ~~の通例とげ。 |
| マオウ | マオウ科の Ephedra sinica Stapf、Ephedra intermedia Schrenk et C. A. Meyer 又は Ephedra equisetina Bunge ~~マオウ、チュウマオウ又はエフェドラ・エクイセチナ~~の地上茎。<br>マオウについては、気管支拡張のほか、発汗促進、~~尿量増加（~~利尿~~）~~等の作用も期待される。心臓病、高血圧、糖尿病又は甲状腺機能亢進症~~障害~~の診断を受けた人では、症状を悪化させるおそれがあり、使用する前にその適否につき、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談がなされるべきである。 |
| カンゾウ | マメ科の Glycyrrhiza uralensis Fischer 又は Glycyrrhiza glabra Linné ~~ウラルカンゾウ又はグリキルリザ・グラブラ~~の根及びストロンで、ときには周皮を除いたもの（皮去りカンゾウ）生薬）が用いられることもある。<br>カンゾウについては、グリチルリチン酸による抗炎症作用のほか、気道粘膜からの粘液分泌を促す等の作用も期待される。 |
| オウヒ | バラ科のヤマザクラ又はカスミザクラの~~その他近縁植物の、通例、周皮を除いた~~樹皮。 |
| オンジ | ヒメハギ科のイトヒメハギの根及び根皮。 |
| オウバク | ミカン科のキハダ又は Phellodendron chinense Schneider ~~フェロデンドロン・キネンセ~~の周皮を除いた樹皮。 |
| オウレン | キンポウゲ科のオウレン、Coptis chinensis Franchet、Coptis deltoidea C.Y. Cheng et Hsiao 又は Coptis teeta Wallich ~~コプティス・キネンシス、コプティス・デルトイデア又はコプティス・テータ~~の根をほとんど除いた根茎。 |
| ゲンチアナ | リンドウ科の Gentiana lutea Linné ~~ゲンチアナ~~の根及び根茎。 |
| ユウタン | クマ科の Ursus arctos Linné 又は~~セゲマ~~その他近縁動物の胆汁を乾燥したもの。 |
| ケイヒ | クスノキ科の Cinnamomum cassia J. Presl ~~シンナモムム・カッシア~~の樹皮又は周皮の一部を除いた樹皮。 |
| コウボク | モクレン科のホオノキ、Magnolia officinalis Rehder et Wilson 又は Magnolia officinalis Rehder et Wilson var. biloba Rehder et Wilson ~~カラホオ~~等の樹皮。 |
| ソウジュツ | キク科のホソバオケラ、シナオケラ~~等、~~又はそれらの種間雑種の根茎。 |
| ビャクジュツ | キク科のオケラの根茎（和~~ワ~~ビャクジュツ）又はオオバナオケラの根茎（唐~~カラ~~ビャクジュツ）。 |
| ケツメイシ | マメ科のエビスグサ又は Cassia tora Linné ~~カッシア・トーラ~~の種子。 |
| アセンヤク | アカネ科の Uncaria gambir Roxburgh ~~ガンビール~~の葉及び若枝から得た水製乾燥エキス。 |
| センナ | マメ科の Cassia angustifolia Vahl 又は Cassia acutifolia Delile ~~チンネベリセンナ又はアレキサンドリアセンナ~~の小葉。 |
| ダイオウ | タデ科の Rheum palmatum Linné、Rheum tanguticum Maximowicz、Rheum officinale Baillon、Rheum coreanum Nakai ~~ショウコウダイオウ、タングートダイオウ、ダイオウ、チョウセンダイオウ~~又はそれらの種間雑種の、通例、根茎。 |
| アロエ | ユリ科の Aloe ferox Miller 又はこれと Aloe africana Miller 又は Aloe spicata 1664 Baker との種間雑種~~ケープアロエ~~等の葉から得た液汁を乾燥したもの。 |
| エンゴサク | ケシ科の Corydalis turtschaninovii Besser forma yanhusuo Y. H. Chou et C. C. Hsu ~~エンゴサク~~の塊茎を、通例、湯通ししたもの。 |
| **センソ** | ヒキガエル科のアジア~~シナ~~ヒキガエル等の耳~~毒~~腺の分泌物を集めたもの。 |
| ロクジョウ | シカ科の Cervus nippon Temminck、Cervus elaphus Linné、Cervus canadensis Erxleben 又はその他同属動物の雄鹿の角化していない~~マンシュウアカジカ又はマンシュウジカの雄のまだ角化していない、若しくは、わずかに角化した~~幼角。 |

| | |
|---|---|
| コウカ | キク科のベニバナの管状花をそのまま又は黄色色素の大部分を除いたもので、ときに圧~~搾~~縮して板状としたもの。 |
| サンキライ | ユリ科の Smilax glabra Roxburgh ~~ケナシサルトリイバラ~~の塊茎。 |
| シンイ | モクレン科の Magnolia biondii Pampanini、ハクモクレン、Magnolia sprengeri Pampanini、タムシバ又はコブシ~~タムシバ、コブシ、ボウシュンカ、マグノリア・スプレンゲリ又はハクモクレン~~等の蕾。 |
| サイシン | ウマノスズクサ科の~~ウスバサイシン又は~~ケイリンサイシン又はウスバサイシンの根及び根茎。 |
| サンシシ | アカネ科のクチナシの果実で、ときには湯通し又は蒸したもの。 |
| オリブ油 | モクセイ科の Olea europaea Linné ~~オリーブ~~の果実を圧搾して得た脂肪油。 |
| ヒノキチオール | ヒノキ科のタイワンヒノキ、ヒバ等から得られた精油成分で、抗菌、~~血行促進、~~抗炎症などの作用を期待して用いられる。 |
| インヨウカク | メギ科のキバナイカリソウ、イカリソウ、Epimedium brevicornu Maximowicz、Epimedium wushanense T. S. Ying、 ホザキイカリソウ又はトキワイカリソウ~~エピメディウム・ブレビコルヌム、ホザキイカリソウ、キバナイカリソウ、イカリソウ、トキワイカリソウ等~~の地上部。 |
| ハンピ | ニホンマムシ等の皮及び内臓を取り除いたもの ~~マムシ~~。 |
| オウギ | マメ科のキバナオウギ又は Astragalus mongholicus Bunge ~~ナイモウオウギ等~~の根。 |
| ボウフウ | セリ科の Saposhnikovia divaricata Schischkin ~~ボウフウ~~の根及び根茎。 |
| ショウマ | キンポウゲ科の Cimicifuga dahurica Maximowicz、Cimicifuga heracleifolia Komarov、Cimicifuga foetida Linné 又はサラシナショウマ~~サラシナショウマ、フブキショウマ、コライショウマ又はオオミツバショウマ~~の根茎。 |
| レンギョウ | モクセイ科のレンギョウ~~又はシナレンギョウ~~の果実。 |